



寿

100歳 おめでとうございます

4月6日に銘珂ウシさん、4月20日に西田チサ子さん(西は旧字体)、4月27日に山下ウトさんが100歳の誕生日を迎えられました。



銘珂ウシさん(桜山二丁目)

沖縄県の出身で、ご主人を献身的に支えてこられました。グラウンドゴルフや大正琴が趣味で、現在は施設の人たちと毎日楽しく過ごしています。ご家族は「母はとにかくポジティブで何にでも挑戦し、働き者でした。」と話しました。



西田チサ子さん(野原南)

夫を戦争で亡くし、小学校の先生をしながら息子さんを育てました。定年後は京都で暮らした後、故郷の荒尾に帰郷。長生きの秘訣は好物を食べることだそうです。コロナが収束し、早くご家族に会えることを願っています。



山下ウトさん(今寺)

与論島の出身で、ふるさとの歌が大好き。妹と会うと今でも楽しく踊りながら過ごします。手先が器用で、伝統工芸品の大島紬も織っていました。ご家族は「ふるさと与論が大好きなかわいばあちゃんです。」と話しました。

4/14・15 コロナに負けず優雅な舞を披露
～上荒尾熊野座神社神楽奉納～

▶年長の男の子が、左手に剣を持ち「四刻」を舞いました



上荒尾熊野座神社の春季例大祭(ごんげんさん)にて、約170年の歴史がある荒尾市指定無形民俗文化財「上荒尾熊野座神社神楽」(通称:上小路子ども神楽)が奉納されました。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で神楽の奉納は中止となりましたが、ことしは感染症対策を行いながら、五穀豊穡・家内安全を祈願して奉納しました。

ことしは5人の新しい舞手が加わり、練習の成果を発揮して、上手に舞うことができました。



1 奉納前に受けたお祝い 2・3 14日の夜神楽で舞った「弓弓(写真2)」と「四幣(写真3)」 4 ことしの神楽は、年長から高校3年生の上小路地区の子どもたちで行われました

ハイ! スクール通信 High School communication



- 市内高校通信 -

Vol.22

岱志高校から2つのトピックスをお届けします

美術工芸コースの紹介 Topics1

岱志高校美術工芸コースでは絵画、陶芸、デザイン、立体、デッサン等美術を専門的に広く、深く学ぶことができます。

毎年、公募展で多くの賞を取ったり、進路面では美術系有名大学に進学したりして、県内トップクラスの結果を出し続けています。

在籍する生徒の多くがイラストレーターなどのクリエイティブな職業に就くことを夢見て頑張っています!!



岱志高校、有明高校、荒尾支援学校の市内3つの高校の取り組みや学生たちの様子などをお届けします。地元高校の新たな魅力の発見につながるかも!?

美工コースの名物先生! Topics2

内堀公靖教諭

東京藝術大学の彫刻科を卒業。県内の美術科、コースがある高校を長年指導され、岱志高校は三年目。自らも立体作品を精力的に制作されています。内堀先生にインタビューをしました。



【岱志高校美工コースはどんなところですか?】
楽しいところです。生徒たちが楽しんでそれぞれの制作に取り組める環境が整っています。

【地域の美術を志す子供たちへ一言】
感性とは気づくことです。感覚は気づく事で育ちます。空の色、風の音、木々の緑を眺めてください。同じように見え、感じていたモノが常に変化していることに気づいたら…。

地域の活動 掲示板

グラウンドゴルフ大会

3/14



緑ヶ丘地区協議会

カラリモ畑畝立て

3/27



府本地区協議会

4/15 緑化あふれる地域を目指して
～熊本県緑化功労者表彰受賞～

▶浅田市長(右から2番目)へ受賞報告をする府本地区協議会の皆さん



府本地区協議会に、「熊本県緑化功労者」表彰が贈られました。当会では、小袋山の手入れのほか環境美化・地域活性化に精力的に取り組まれています。

山崎会長が「長い間、地域の皆さん、役員などの活動のおかげで受賞することができた。これからも継続して地域のために頑張りたい」と今後の意気込みを語ると、浅田市長は「これからも頑張ってください」とエールを送りました。